

# 平成25年度予算見積調書

課室名：生涯学習文化財課

担当名：社会教育担当

内線：6917

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B98	青少年げんき・いきいき体験活動事業		一般会計	教育費	社会教育費	社会教育振興費	青少年教育振興費	
事業期間	平成23年度～平成25年度	根拠法令	社会教育法第3条、第6条、埼玉県立げんきプラザ条例		戦略項目			
					分野施策	020102 子どもたちの豊かな心の育成と非行防止・立ち直りの支援		
1 事業の概要			5 事業説明					
<p>今日、不登校やいじめ等子供たちを取り巻く様々な問題が発生している。学校教育のみならず社会教育の分野においても、自然体験活動や異学年の子供同士の交流等とおして、豊かな人間性と心身ともにたくましく生きる力を持った青少年を育成する必要がある。</p> <p>そこで、直営施設において、障害のある子供とない子供が交流する事業や、不登校・引きこもり対策など、現代的課題に対応する事業を実施する。併せて、事業の成果やノウハウを指定管理者制度導入施設に示し、県内げんきプラザ全体のレベルアップを図っていく。</p> <p>(1) いきいき体験活動事業 440千円 (2) わくわく未来事業 188千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア いきいき体験活動事業 障害の有無にかかわらず、児童生徒と一緒に自然体験活動等を行う 440千円 イ わくわく未来事業 不登校や引きこもりの児童生徒が集団活動や共同生活を行う 188千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア いきいき体験活動事業 障害の有無にかかわらず、児童生徒が自然体験活動とおして交流できるプログラムを実施する。 イ わくわく未来事業 不登校傾向にある児童生徒やその家族を対象に手作り体験や宿泊体験を行う。</p> <p>(3) 事業効果 多様な交流や体験活動を実施する事業とおして、よりよい人格形成や社会の一員として自己実現を図ることのできる青少年を育成する。 平成23年度実績：895人</p> <p>(4) その他 【前年度からの変更点】 ア いきいき体験活動事業の宿泊事業を4回から3回に見直し、直営2所が連携して行う宿泊事業を取り入れた。 イ いきいき体験活動事業の日帰り事業を6回から4回に見直した。 ウ わくわく未来事業では、使用料及び賃借料のバス借り上げを見直した。</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.2人=1,900千円								
予算額		財源内訳					一般財源	前年との対比
決定額	628	使用料・手数料	75				553	△113
前年額	741		141				600	